SEABEE

取扱説明書 Tone Fishing Guide

（株）アンブレラカンパニー

www.umbrella-company.jp

＊ この取扱説明書は株式会社アンブレラカンパニーが正規に販売する製品専用のオリジナル制作物です。
無断での利用、配布、複製などを固く禁じます。

QUICK START with Factory Presets ファクトリープリセットを使ったクイックスタート 3

CHORUS vs VIBEE 10

RECALLING PRESETS プリセットの呼び出し 11

LIVE MODE 11

SAVING PRESETS プリセットの保存 12

FAVORITE PRESETS 12

CHORUS 13

ROTO MODE – CHORUS 15

DEPTH MODE – CHORUS 16

STING MODE -CHORUS 17

HARMOCHORUS 18

DUAL MODE - HARMO 20

ARP MODE - HARMO 21

MAD MODE - HARMO 22

UNDERSTANDING THE HARMONIES – ハーモニーを理解する 23

CHORDS コードオプション 24

ARP PATTERNS アルペジオパターン 25

MAD MODE PATTERNS MAD モードでのパターン 26

GLOBAL SETTINGS グローバル設定 27

FACTORY PRESET RESET 28

MIDI 28

MIDI 29

MIDI CHANNEL SETUP MIDI チャンネルの設定 29

EXPRESSION エクスプレッション 29

SAMPLE SETTINGS 30

QUICK START with Factory Presets ファクトリープリセットを使ったクイックスタート

ファクトリープリセットを試して最高なトーンを最速で釣り上げよう！

1 - 両方のフットスイッチを同時に押します - プリセット LED が点滅し始めます -

2 - 左右のフットスイッチでプリセットをスクロールします。- LED の色で分けられた 4 つのバンクがあり、それぞれ 4 つのプリセットスロットを持っています -

3 - 再び両方のフットスイッチを同時に押し、プリセットを確定させます。

- プリセット LED の点滅が止まり、指定されたスロットが点灯します

***Expressive Ramping**:

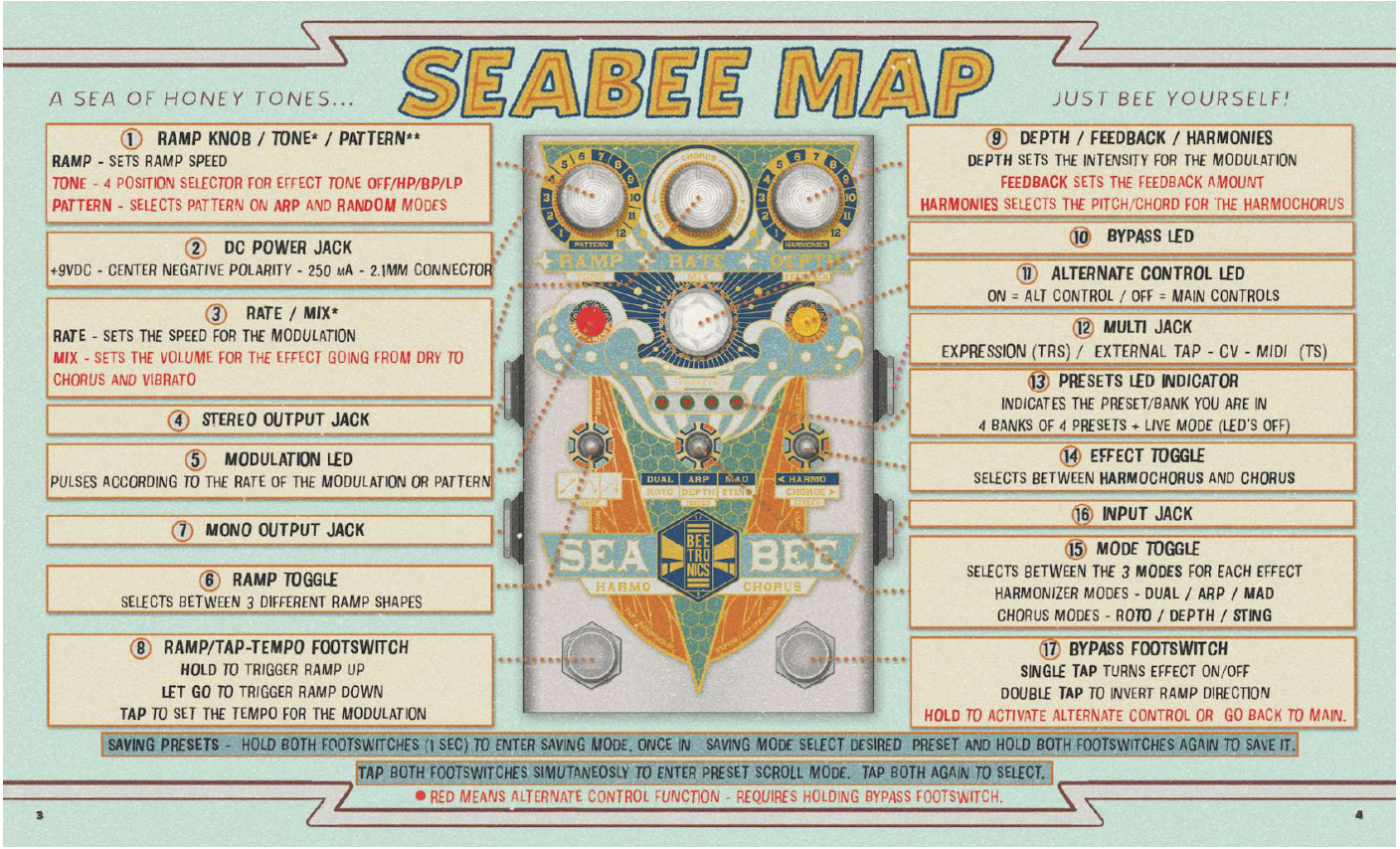
それぞれのプリセットで必ずRAMP機能を試してみてください！左のフットスイッチを押したりホールドしたりするとRAMPの動きを確認できます。プリセットはそれぞれ異なる反応をし、演奏しながら操作することのできる音楽的な RAMP を提供してくれます。

SEABEE には 8 つのファクトリープリセット（赤と黄色のバンク）と 8 つの空のプリセット（オレンジと緑のバンク）があります。

LIVE MODE は緑のバンクと赤のバンクの間にあります。バンクをスクロールするとプリセット LED は赤・緑・消灯の順で点滅し、LIVE MODE では同時にプリセット LED は消灯します。

LIVE MODE では、サウンドがノブやトグルスイッチの位置通りに反応します。

SEABEE MAP



① RAMP KNOB / TONE / PATTERN

RAMP - RAMP のスピードを設定

TONE - エフェクトトーンの OFF/HP/BP/LP を選択する 4 ポジションセレクター

PATTERN - ARP と RANDOM モード【おそらく MAD モードのこと】でパターンを選択

② DC POWER JACK

+9VDC センターマイナス - 250mA - 2.1mm プラグ

③ RATE / MIX

RATE - モジュレーションのスピードを設定

MIX - ドライからコーラスやビブラートへと変化するエフェクトの音量を設定

④ STEREO OUTPUT JACK

⑤ MODULATION LED

モジュレーションやパターンの RATE に応じて明滅します

⑦ MONO OUTPUT JACK

⑥RAMP TOGGLE

3 つの異なる RAMP シェイプから選択

8 RAMP/TAP-TEMPO FOOTSWITCH

長押しで RAMP UP をトリガー

離すと RAMP DOWN をトリガー

タップすることでモジュレーションのテンポを設定

⑨ DEPTH / FEEDBACK / HARMONIES

DEPTH はモジュレーションの強さを設定

FEEDBACK はフィードバック量を設定

HARMONIES は HARMOCHORUS のピッチ/コードを選択

⑩ BYPASS LED

⑪ ALTERNATIVE CONTROL LED

ON = ALT コントロール / OFF = メインコントロール

⑫ MULTI JACK

Exp. (TRS) / 外部 TAP-CV-MIDI(TS)

⑭ PRESETS LED INDICATOR

使用中のプリセット/バンクを表示

4 つのバンクに 4 つずつのプリセット + LIVE MODE（LED はオフ）

⑯ INPUT JACK

⑰ BYPASS FOOTSWITCH

タップでエフェクトの ON/OFF を切り替え、ダブルタップで RAMP の方向を反転

長押しで ALT コントロールとメインコントロールの切り替え

SAVING PRESETS プリセットの保存 - 両方のフットスイッチを長押し（1 秒）することでセーブモードになります。セーブモードで保存したいプリセットを選択し、両方のフットスイッチを再び長押しすることでプリセットが保存されます。

両方のフットスイッチを同時に押すとプリセットスクロールモードになります。再び同時押しをしてプリセットを選択します。

赤文字は ALT コントロールを表しています。BYPASS フットスイッチを長押ししながらパラメーターを変更すると ALT コントロールへアクセスできます。

各バンクは 6 のプリセット（A-F）を表示でき、プリセットは各スイッチに対応します。別の 6 のプリセット（G-L）はスイッチ同時押し、接続した AUX スイッチでページを切り替えてアクセスできます。またプリセットのフットスイッチへページ切り替えを割り当てることも可能です。

MAIN and ALTERNATE CONTROLS メインと ALT コントロール

簡潔に言えば、SEEBEE のそれぞれのモードには 3 つのメインコントロールと 3 つの ALT コントロールがあります。

RAMP, RATE, DEPTH の 3 つがメインコントロール、**TONE, MIX, FEEDBACK** の 3 つが ALT コントロールです。

ALT コントロールは、メインコントロールの"下に"隠された 2 層目のコントロールです。

ALT コントロールにアクセスし設定を変えるためには、ALT-CONTROL LED が黄色に点灯するまで BYPASS フットスイッチを 1/2 秒長押ししてください。

ノブを回し終えてメインコントロールの設定を変更しに戻りたい場合は、BYPASS フットスイッチを再び長押ししてください。ALT-CONTROL LED が消灯します。

***注意** - いくつかのコントロールはモードによって変わります。モードのページを参照してください。

TONE CONTROL トーンコントロール

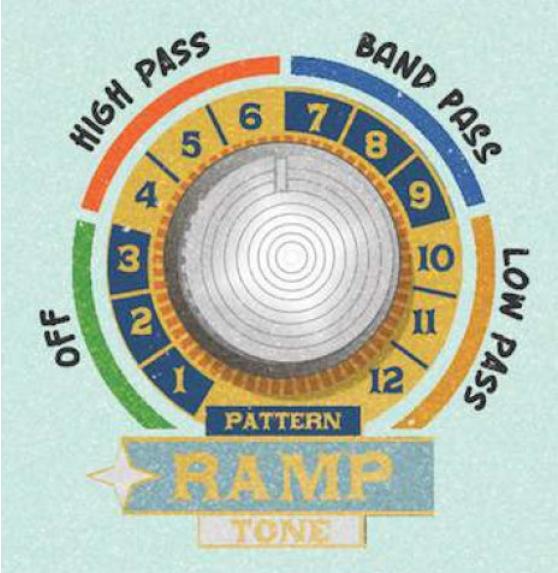
TONE CONTROL はドライ・ハイパス・バンドパス・ローパスの 4-WAY スイッチとして機能し、これらは WET シグナルにのみ作用します。使用する機材によって不要な周波数帯をカットしたり、また WET シグナルを特徴的なサウンドにしたりするのにうってつけの機能です。

*フィルターの効きをよりよく聞くために、MIX ノブを VIBEE の向きに最大まで回すことをおすすめします。フィルターの設定が決まったら、MIX ノブを好みの位置まで戻しましょう。強くフィルターがかかったサウンドを作っている場合は、MIX ノブを最大のままにしておいてもいいでしょう。

TONE ノブは ALT-CONTROL です。これにアクセスするには、ALT-CONTROL LED が黄色に点灯するまで BYPASS フットスイッチを 1/2 秒長押しする必要があります。

ノブを回し終えたら、メインコントロールへ戻るために再度 BYPASS フットスイッチを長押ししてください。

以下は 4-WAY スイッチがどのように設定されているかを表したダイアグラムです。



RAMP - DEEP DIVE

EXPRESSIVE RAMPING はこのペダルの最もクールな特徴の一つです。ムーブメントをトリガーすることができ、シェイプやスピード、方向を調整する事も可能です。

TAP/RAMP フットスイッチ（左）を長押しで RAMP UP がトリガーされ、フットスイッチを離すと RAMP DOWN がトリガーされます。

RAMP ノブで RAMP のスピードを設定します。ゼロに設定したとき、RAMP は瞬時に動きます。

*RAMP を急速にトリガーするために、RAMP スピードがゼロのときは TAP テンポ機能が使用不可になります。

*TAP テンポを使いたい場合は少しだけ RAMP ノブを回し、TAP テンポ入力を行い、またノブをゼロに戻してください。

ランピングはモードごとに特定のコントロールに割り振られています（MODE のページをご覧ください）。

RAMP SHAPE:

SEABEE は RAMP トグルスイッチで選択可能な 3 つの RAMP シェイプを備えています。

A to B - RAMP フットスイッチを長押しすると RAMP は上昇し、上限に達するとその状態を維持します。再度 RAMP フットスイッチを長押しすると RAMP は下降し、下限に達するとその状態を維持します。RAMP スピードを最小値（最速）に設定すると、RAMP フットスイッチを長押しする度に、この変化が即時におきるようになります。

UP AND DOWN - RAMP フットスイッチを長押ししている間は RAMP が上昇し、フットスイッチを離すと RAMP は上昇するのと同じ速さで下降し戻っていきます。RAMP スピードを最小値（最速）に設定すると RAMP は直ちに上昇し、同様にフットスイッチを離すと RAMP は直ちに下降するようになります。

ALWAYS UP - この RAMP シェイプでは上昇のみになります。 RAMP フットスイッチを長押ししている間は RAMP が上昇し、フットスイッチを離すと RAMP ははじめの状態まで即座に戻ります。

この RAMP シェイプでは上昇のみになります。 RAMP フットスイッチを長押ししている間は RAMP が上昇し、フットスイッチを離すと RAMP ははじめの状態まで即座に戻ります。

RAMP DIRECTION:

BYPASS フットスイッチをダブルタップすることで、RAMP の向きを反転することができます。

2 つの RATE があるモードでは、BYPASS フットスイッチをダブルタップすることで RATE 1 と RATE 2 が切り替わります。

CHORUS vs VIBEE

SEABEE は CHORUS と VIBEE を生成することができます。その違いとは何でしょう？

CHORUS はドライシグナルとモジュレートされたシグナルを足し合わせたものである一方で、VIBEE はモジュレートされたシグナルそのものです。

SEABEE では、MIX ノブでドライシグナルとモジュレートされたシグナルのバランスを調整することで、両方のエフェクトを得ることができます。MIX ノブを下げきるとドライシグナルのみが出力され、中間の位置に向かって動かすと CHORUS エフェクトがかかります。ノブを上げきると、VIBEE エフェクトになります。

異なるトーンやテクスチャーを見つけるために、この幅の間のどこへでも設定することができます。

HARMOCHORUS のモードでは MIX ノブでピッチをより強調したり、もしくはよりギターのトーンに馴染むようにするために調節することができます。 - 色々試して、あなたのスイート・スポットを見つけてみてください。

RECALLING PRESETS プリセットの呼び出し

SEABEE には 16 のオンボード・プリセットがあり、それぞれ 4 つのプリセット x4 つのバンク（赤、黄色、オレンジ、緑）に分かれています。LIVE MODE 時はすべてのパラメーターやモードはペダルの設定通りになります（全プリセット LED 消灯）。

出荷時には 8 つのファクトリー・プリセットと 8 つの空のプリセットがあり、ファクトリー・プリセットは上書きすることも可能です。

以下のように、プリセットは簡単に呼び出す事ができます。

1 - 両方のフットスイッチを同時に押します。プリセットスクロールモードに入り、プリセット LED が点滅を始めます。

2 - 左右のフットスイッチを用いてプリセットをスクロールします。LED が順番に光ります。

3 - 目的のプリセットまでたどり着いたら、両方のフットスイッチを押しプリセットを選択します。

ペダルの ON/OFF にかかわらず、両方のフットスイッチを同時押しすることでいつでもプリセットスクロールモードに入ることができます。

プリセットとバンクは以下の通りです：

0 - LIVE MODE（LED の色が変動します）

1-4 - RED BANK（ファクトリープリセット）

5-8 - YELLOW BANK（ファクトリープリセット）

9-12 - ORANGE BANK（空のプリセット）

13-16 - GREEN BANK（空のプリセット）

LIVE MODE

プリセットをスクロールしていくと、緑と赤のバンクの間に LED の色が切り替わって点滅するプリセットがあることに気付くでしょう。それが LIVE MODE です。

LIVE MODE では、見たままの音を手に入れることができます。すべてのパラメーターはそのノブの位置に従います。

LIVE MODE のスロットにプリセットを保存することはできません。ですが、LIVE MODE を使って音作りをし、そのサウンドをバンクのプリセットに保存することは可能です。

SAVING PRESETS プリセットの保存

プリセットの保存はプリセットの呼び出しと同じように行います。こちらがそのやり方です：

1 - 両方のフットスイッチを同時に 1 秒間長押しします。BYPASS LED が点滅、だんだん速くなっていき PRESET SAVING モードに入ったことを示します。

2 - 左右のフットスイッチを用いてプリセットをスクロールします。

3 - 目的のプリセットの場所までたどり着いたら、両方のフットスイッチを再度押してください BYPASS LED が点滅、だんだん速くなっていき、プリセットが保存されたことを意味します。

FAVORITE PRESETS

SEEBEE では、最初に電源プラグを入れた際にどのプリセットから始まるかを選ぶことができます。

FAVORITE PRESET の保存方法：

1 - 両方のフットスイッチを同時に 1 秒間長押しして PRESET SAVING モードに入ります。

2 - あなたのお気に入りとして使いたいプリセットまでスクロールします。

3 - RAMP/RATE フットスイッチを 1 秒間長押しします。BYPASS LED が点滅し、FAVORITE PRESET が設定されたことを示します。

両方のフットスイッチを同時押しすることで SAVING モードを終了します。

CHORUS

SEABEE はこのミツバチ・オーシャンで最も洗練された BBD コーラスを作り出します。このページはその蜜のようなトーンの海を航海する助けとなるでしょう。

CHORUS モードを始めるには、まず EFFECT TOGGLE を CHORUS の位置（右）に切り替えることから始めましょう。

CHORUS モードには 3 つのメインコントロールがあります。

DEPTH - モジュレーションの強さを設定

RATE - モジュレーションのレート/スピードを設定

RAMP - RAMP の速さを設定

その他に 3 つの ALT コントロールを備えています。

FEEDBACK - フィードバックタイムを設定

MIX - エフェクト音のミックスをドライから CHORUS（50/50）、VIBRATO（WET のみ）までの間で設定

TONE - 4-WAY のトーンセレクター（ドライ/ハイパス/ローパス/バンドパス）

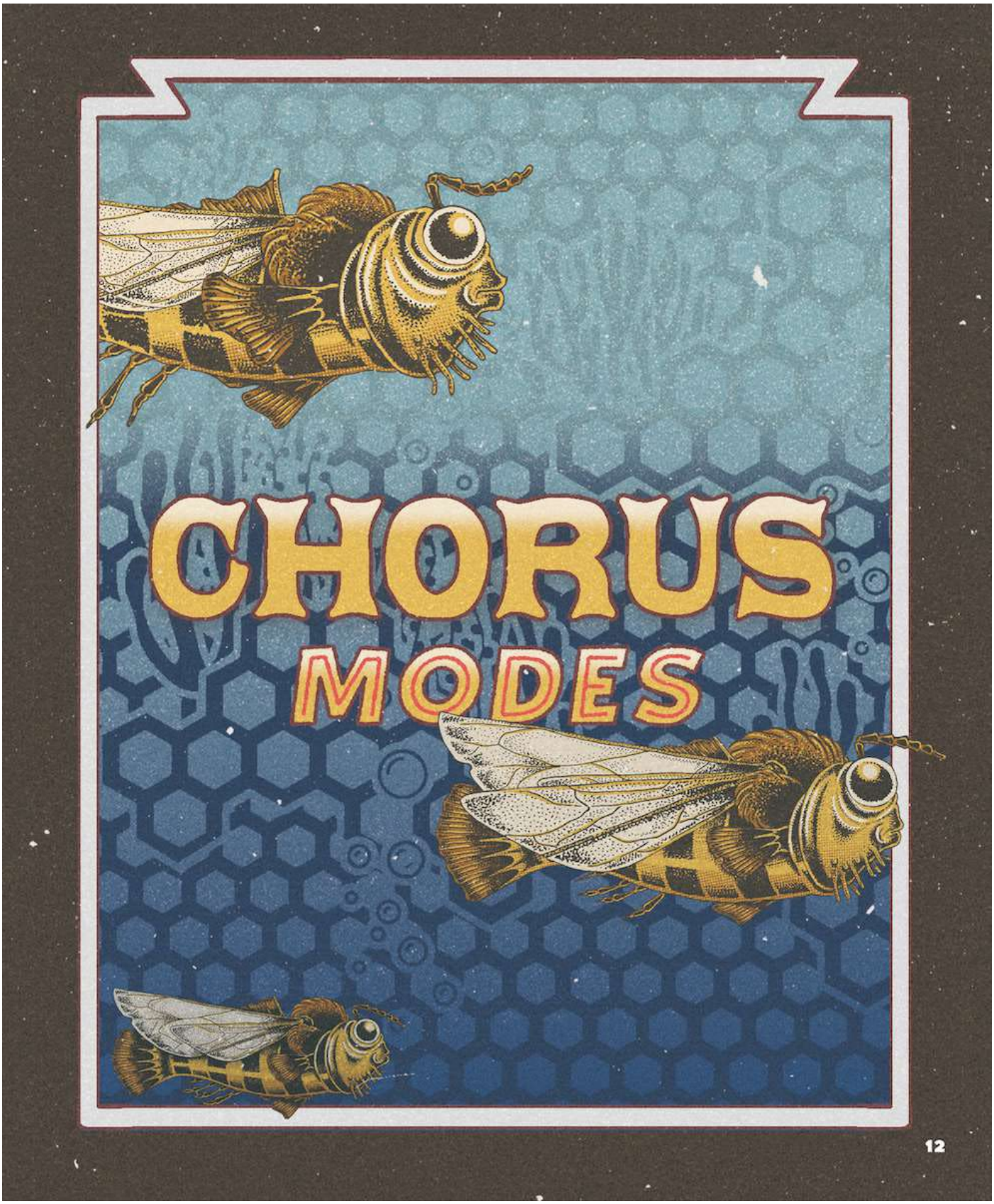
3 つの CHORUS モードがあり、MODE TOGGLE で選択することができます。

ROTO　ロータリースピーカーに近いエフェクト。このモードは 2 つのスピードの設定を備え、それらの間で RAMP する事ができます。

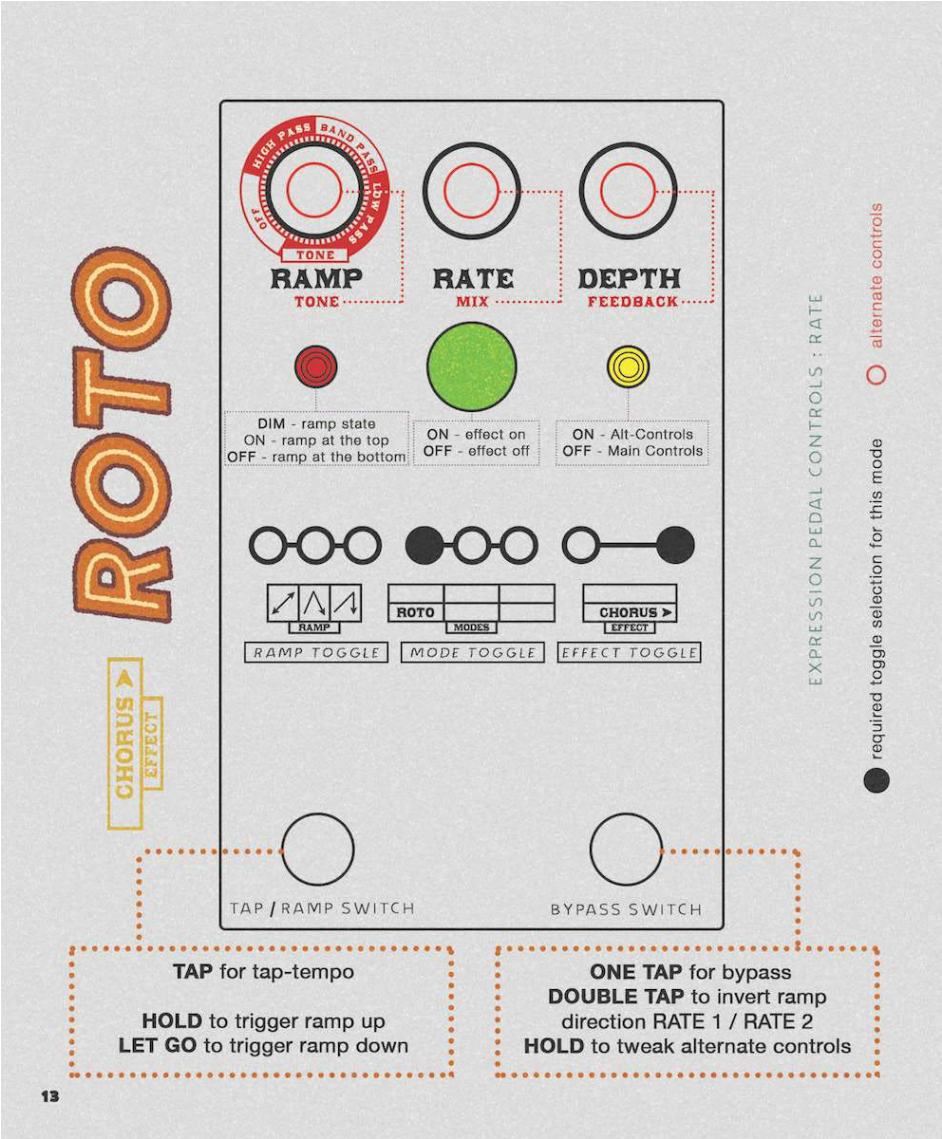
DEPTH　0 から設定した値まで、モジュレーションの DEPTH を RAMP します。

STING　コーラスのディレイ・タイムを RAMP することができ、とてもユニークな質感や動きを作り出します。

3 つの RAMP シェイプがあり、RAMP TOGGLE で選択することができます。


CHORUS
MODES

ROTO MODE – CHORUS



ROTO モードでは CHORUS エフェクトの RATE コントロールを RAMP することができます。

2 つの異なる RATE を切り替えることで、ロータリースピーカーに似たエフェクトとなります。

ROTO モードでは RATE1 が基準となり、RATE2 は常に RATE1 のサブディビジョンになります。この特徴によって、RAMP フットスイッチで拍子にシンクした音楽的な変化を作り出すことが可能になっています。

1 - ROTO モードを始めるためにまず EFFECT TOGGLE を CHORUS（右）に切り替え、MODE TOGGLE を ROTO（左）に切り替えてください。

2 - RATE や DEPTH、MIX、FEEDBACK、そして TONE といった基本的なパラメーターを調節します。それが終われば、RATE1 での基本的なトーンの完成です。

（タップテンポでの RATE 設定も可能）

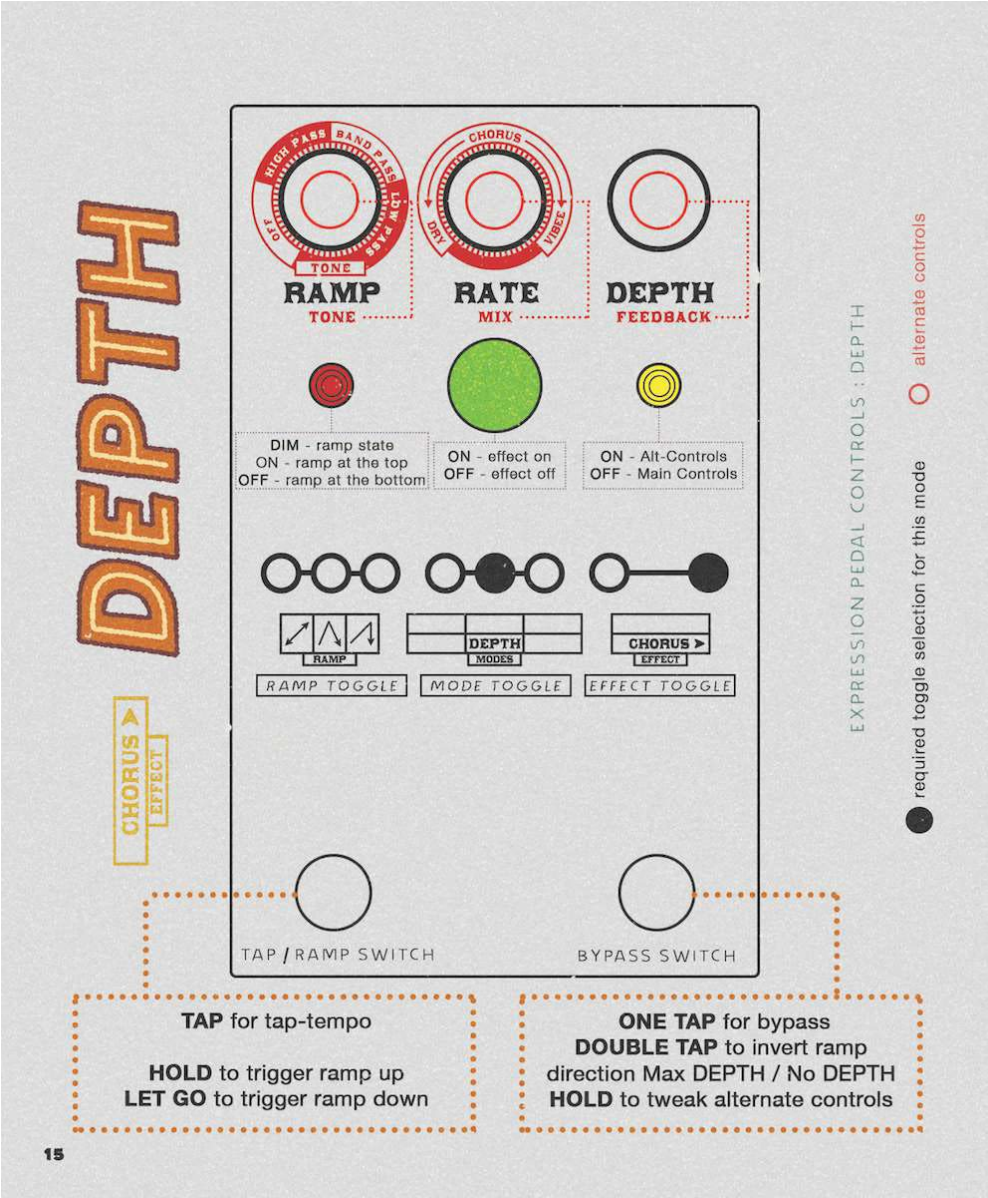
3 - BYPASS フットスイッチをダブルタップして RATE2 に切り替えます。

ここでは RATE コントロールが、基本となる RATE1 のサブディビジョンのコントロールとして機能します。最小値では RATE は変わらず、RATE ノブを回すと上昇していきます。希望するサブディビジョンに設定しましょう。

RATE2 では第二の DEPTH を設定することもできます。つまり RATE1 と RATE2 の間で RAMP させると、RATE だけでなく DEPTH も上げ下げすることができます。

4 - RAMP TOGGLE を使って RAMP シェイプを選択し、RAMP ノブで RAMP スピードを設定します。また BYPASS フットスイッチをダブルタップすることで、RATE1 から RATE2 へ、またはその逆へと RAMP の方向を即座に入れ替える事ができます。

DEPTH MODE – CHORUS



DEPTH モードでは CHORUS エフェクトの DEPTH コントロールを RAMP することができます。

DEPTH を 0 からどこでも設定した値まで、また一定の DEPTH から始めて 0 まで動かす事が可能です。

このモードはリフやパートの一部にだけ CHORUS や VIBEE のモジュレーションを加えるのに適しています。また、ゆっくりとエフェクトを加えたり減らしたりするのも良いでしょう。ダイナミクスの強調、緊張感を作り出すのにもってこいのツールです。

1 - DEPTH モードを始めるために、まず EFFECT TOGGLE を CHORUS（右）に切り替え、MODE TOGGLE を DEPTH（中央）に切り替えてください。

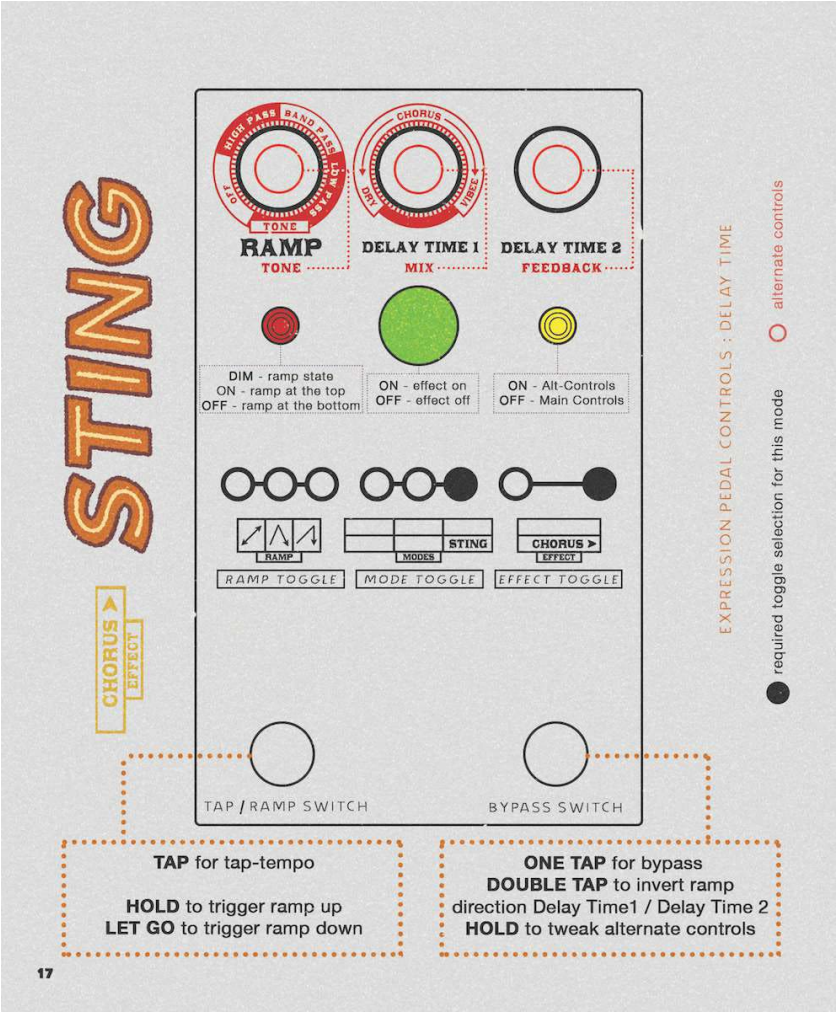
2 - RATE や DEPTH、MIX、FEEDBACK、そして TONE といった基本的なパラメーターを調節します。

DEPTH を設定する際は、DEPTH ノブを用いて希望の最大値を設定します。RAMP が下からに設定されている場合でも、DEPTH の具合を聞いて確認することができます。RAMP フットスイッチを長押しすれば、すぐに RAMP が設定された方向でトリガーされます。

3 - RAMP TOGGLE で RAMP シェイプを選択し、RAMP ノブで RAMP スピードを設定します。

また、BYPASS フットスイッチを押すことで RAMP の方向の入れ替え、また DEPTH をゼロからフルに即座に切り替え、そのまた逆も行うことができます。

STING MODE -CHORUS



STING モードでは、CHORUS エフェクトに用いられるバケツリレー回路のディレイタイムを RAMP することができます。LFO もモジュレーションも発生しないため、ムーブメントを生むには RAMP フットスイッチを使ってディレイタイムを動かす必要があります。

STING モードでは RATE ノブが Delay Time1 に、DEPTH ノブが Delay Time2（常に Delay Tme1 にシンク）になります。

STING モードでは多くの異なるサウンドをつくることができます。コントロール類が互いに関係しあい、特に RATE ノブと DEPTH ノブが RAMP スピードと強く関係していることを覚えておいてください。

1 - STING モードを始めるために、まず EFFECT TOGGLE を CHORUS（右）に切り替え、MODE TOGGLE を STING（右）に切り替えてください。

2 - RATE（Delay Time1）や DEPTH（Delay Time2）、MIX、FEEDBACK、そして TONE といった基本的なパラメーターを調節します。FEEDBACK を上げ、”リバーブ・ディレイ”を RAMP させてピッチを上下させる実験をしてみてください。

3 - RAMP TOGGLE で RAMP シェイプを選択し、RAMP ノブで RAMP スピードを設定します。

また、BYPASS フットスイッチをダブルタップすることで RAMP の方向を入れ替えることができます。

RAMP スピードはピッチシフトエフェクトに大きな影響を与えます。スピードが早いと、より目立つピッチシフトエフェクトになります。スピードが遅いと、ゆったりと範囲を上下するモジュレーションになります。

Delay Time2 でシンクするピッチは、2M, 2M, 3M, 4, 5Dim, 5, 8, 11, 12, 8（2 オクターブ）, 8（3 オクターブ）の 12 種類です。

HARMOCHORUS

HARMOCHORUS とは？

このようなエフェクトは他のペダルには見られなかったので、我々は新しい名前をつけなければならなかったのです。ディレイタイムをデジタルにコントロールすることで、我らが女王蜂は CHORUS の波を正確なピッチで上下に弾ませ、信じられないほどユニークなテクスチャーやリズミカルでリッチなアルペジオ、そして幾千ものランダムなパターンを作り出すことができるのです。これらのサウンドは全く新しいジャンルを切り開くかも。でもまずは弾いてみないとね！

HARMOCHORUS モードを始めるために、まずは EFFECT TOGGLE を **HARMO（左）**に設定しましょう。

HARMO モードには 3 つのメインコントロールがあります：

DEPTH（HARMONIES） - DUAL モードではインターバルを、ARP モードと MAD モードではコード・スタックを選択

RATE - モジュレーションのレートやスピードを設定

RAMP - RAMP のスピードを設定

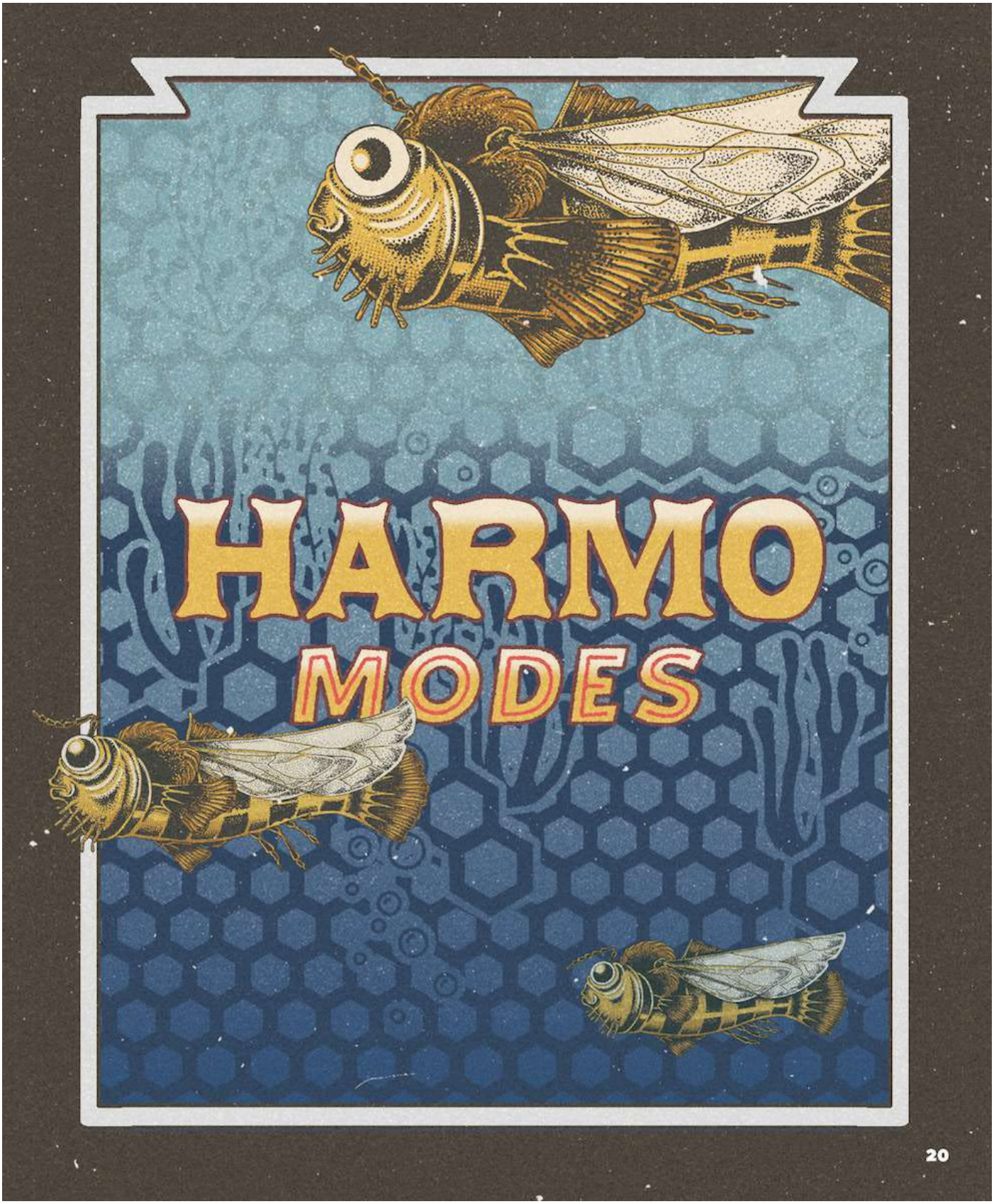
3 つの HARMO モードがあり、MODE TOGGLE で選択することができます。

DUAL　ROTO モードに近く、このモードは 2 つのスピード/2 つのピッチを備えており、それらの間を RAMP することができます。

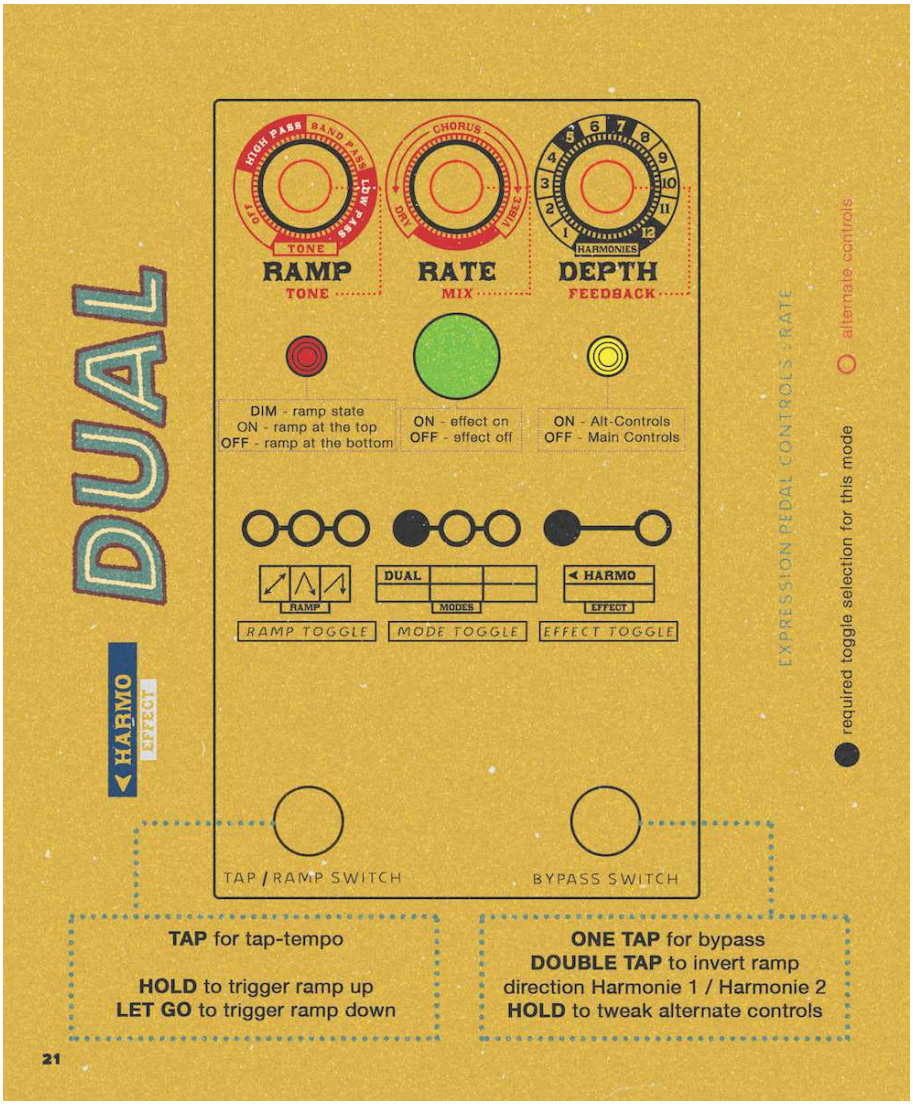
ARP　アルペジエーターのようなモジュレーションの動きを作り出すモードで、パターンとコード・スタックを選択することができます。

MAD　幾千ものランダムなピッチ・パターンを生成するモードで、コード・スタックを選択することができます。

3 つの RAMP シェイプがあり、RAMP TOGGLE で選択することができます。


HARMO
MODES

DUAL MODE - HARMO



DUAL MODE は 2 つのモジュレーションするハーモニーを RAMP で切り替えます。2 つの異なるピッチを RAMP で切り替えたり、もしくは 1 つのみ使い続けることも出来ます。

このモードは ROTO モードに近い働きを持っています。しかし DUAL モードでは、DEPTH は HARMOCHORUS のインターバルの設定となります。

1. DUAL モードにするには EFFECT TOGGLE を HARMO の位置（左）にし、MODE トグルを DUAL ポジション（左）へ切り替えます。

2. RATE1、DEPTH（HARMONY1）、MIX, FEECBACK など基本的なパラメーターをセットします。これで基本の RATE1/HARMONY1 が設定されます（RATE1 はタップテンポでも設定できます）

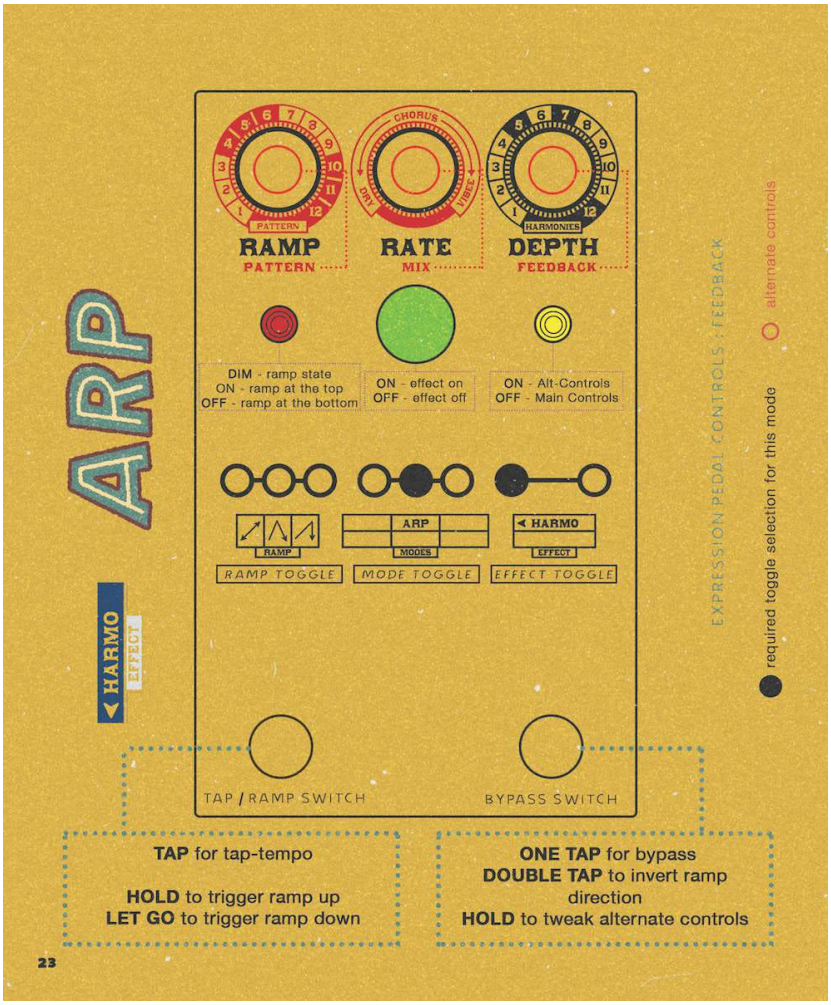
3. BYPASS フットスイッチをダブルタップしてレートコントロール 2 へ操作を切り替えます。これで RATE コントロールは元になっている RATE1 のサブディビジョンを設定するコントロールとなります。最小でテンポ変化なし、あげていくとサブディビジョンが RATE1 を分割していきます。

RATE2 にいる間は 2 つ目のハーモニー（HARMONY2）の DEPTH も設定できます。これを設定すると、RATE1 から 2 を RAMP で切り替えると同時にピッチもアップダウンします。

4.RAMP トグルスイッチを使って RAMP 波形を切り替えたり、RAMP ノブでスピードを決めたりしよう。最小に設定することで、RAMP が起きた瞬間に変化が適用されるにもできます。

BYPASS フットスイッチをダブルタップすると RAMP の方向を入れ替えることが出来ます。

ARP MODE - HARMO



ARP モードは LFO がコーラスのディレイタイムをモジュレーションさせ、正確なピッチのアルペジオを奏です。アルペジオは 12 のノートコンビネーションと、12 のパターンを組み合わせられます。

RAMP フットスイッチはアルペジオのデプスを変更し、音楽的なフェードイン/フェードアウトを演出できます。また正確なピッチへのデチューンやグライドも適用可能です。

1. ARP モードにするには EFFECT TOGGLE を HARMO モード（左）へセットし、MODE トグルを ARP（中央）へ設定します。

2. DEPTH ノブを回して、12 のコード（ノートの組み合わせ）から 1 つを選択します。（コードの詳しい解説は 28 ページを御覧ください）

3. BYPASS フットスイッチを長押しして ALT コントロールを有効にしましょう。右 LED が黄色になると、ALT が有効になったことを表します。

RAMP/PATTERN ノブを回して、12 のパターンのうち一つを選択しましょう。

4. 加えて RATE, MIX, FEEDBACK も設定しましょう。RATE はタップテンポでも設定できます。

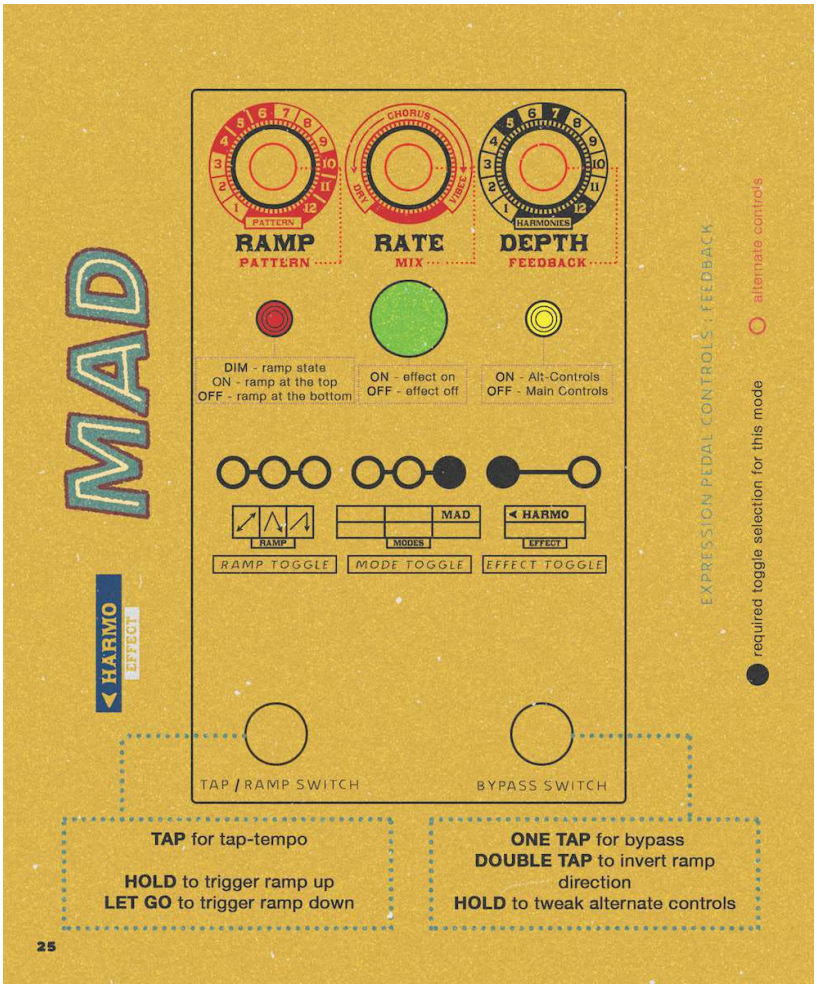
FEEDBACK パラメーター（DEPTH の ALT コントロール）はアルペジオのボイシングに大きな影響を与えます。僅かな変化から、はっきりとしたハーモニクスまで設定可能です。

また MIX コントロールはサウンドの馴染み具合を設定するパラメーターとなり、マイルドなエフェクトから存在感の強いトリッピーな雰囲気まで自在に設定できます。

5. RAMP トグルスイッチを使って RAMP 波形を切り替えたり、RAMP ノブでスピードを決めたりしよう。最小に設定することで、RAMP が起きた瞬間に変化が適用されるにもできます。そのため RAMP フットスイッチを押したり離したりすることで、アルペジオのオンオフを切り替えるようにも作用します。

BYPASS フットスイッチをダブルタップすると RAMP の方向を入れ替えることが出来ます

MAD MODE - HARMO



MADモードは数千もの音楽的なランダムパターンを生成できるアルゴリズムを使用し、コーラスのディレイタイムを欄無二モジュレートさせます。ARPモードに似ていますが、こちらはパターンがランダムです。

MADモードでは12のノートコンビネーションに数千ものランダムパターンを組み合わせられます。

RAMPフットスイッチはランダムパターンのデプスを変更し、音楽的なフェードイン/フェードアウトを演出できます。また正確なピッチへのデチューンやグライドも適用可能です。

1. MADモードへはEFFECT TOGGLEをHARMOモード（左）、MODEトグルをMAD（右）へ切り替えます。

2.　DEPTHノブを回して、12のコード（ノートの組み合わせ）から1つを選択します。（コードの詳しい解説は28ページを御覧ください）

3.　BYPASSフットスイッチを長押ししてALTコントロールを有効にしましょう。右LEDが黄色になると、ALTが有効になったことを表します。RAMP/PATTERNノブを回して、好みのパターンを探してみましょう。ノブを回すたび、アルゴリズムによって新しいパターンが作られます。

4. 加えてRATE, MIX, FEEDBACKも設定しましょう。RATEはタップテンポでも設定できます。

FEEDBACKパラメーター（DEPTHのALTコントロール）はアルペジオのボイシングに大きな影響を与えます。僅かな変化から、はっきりとしたハーモニクスまで設定可能です。

またMIXコントロールはサウンドの馴染み具合を設定するパラメーターとなり、マイルドなエフェクトから存在感の強いトリッピーな雰囲気まで自在に設定できます。

5. RAMPトグルスイッチを使ってRAMP波形を切り替えたり、RAMPノブでスピードを決めたりしよう。最小に設定することで、RAMPが起きた瞬間に変化が適用されるにもできます。そのためRAMPフットスイッチを押したり離したりすることで、パターン演奏のオンオフを切り替えるようにも作用します。

UNDERSTANDING THE HARMONIES – ハーモニーを理解する

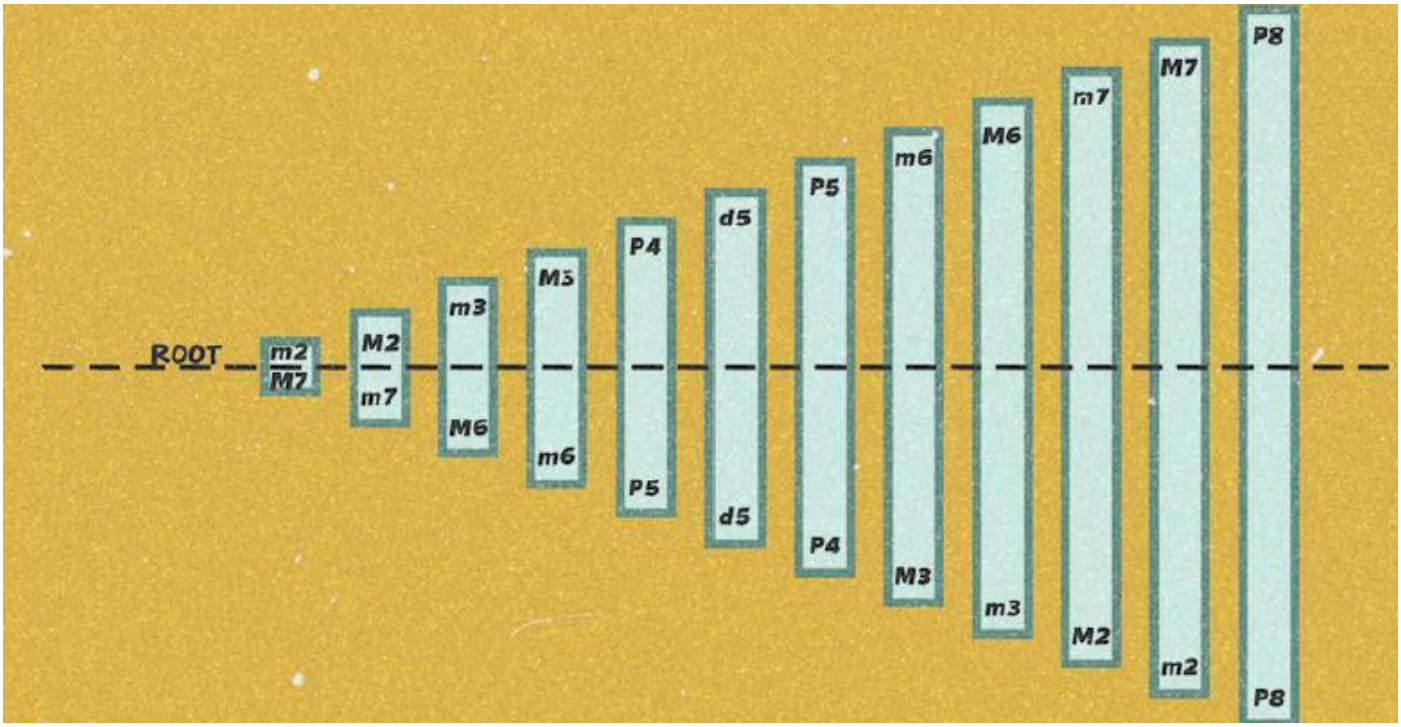
HARMOCHORUS モードでは Seabee はピッチシフトコーラスを生みます。BBD のディレイタイムをデジタル制御することで、正確なピッチ変化を可能にしました。

これらピッチの変化は、鏡に映る像のように対称的なピッチジャンプとなることに注目してください。

この説明は複雑でオタクっぽいとわかっていますが、それでも一部の人はこの仕組を全て理解したい！と思っているはずなので、ダイアグラムを作りました。

このピッチ生成はあなたがプレイする全てのノートに対して発生します。

これらのインフォメーションはたしかにクールですが、考え過ぎもよくありません。あなたのハートの赴くままに、まずはプレイしてみてください。

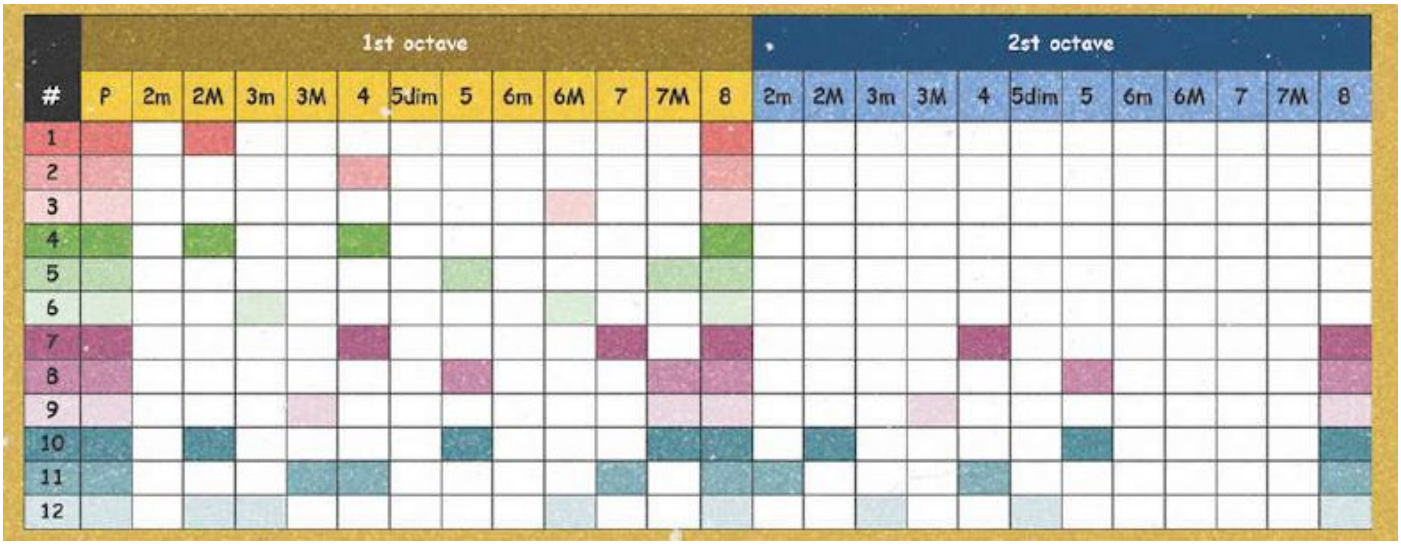


CHORDS コードオプション

APR と MAD モードでは、DEPTH ノブは 12 のコードオプションから 1 つを選択します。

以下は個別のコードとインターバルのダイアグラムです。

#	HARMONIES
1	P, 2M, 8
2	P, 4, 8
3	P, 6M, 8
4	P, 2M, 4, 8
5	P, 5, 7M, 8
6	P, 3m, 6M, 8
7	P, 4, 7, 8, 11, 8²
8	P, 5, 7M, 8, 12, 8²
9	P, 3M, 7M, 8, 9M, 8²
10	P, 2M, 5, 7M, 8, 9M, 12, 8²
11	P, 3M, 4, 7, 8, 9m, 11, 8²
12	P, 2M, 3m, 6M, 8, 9aug, 11aug, 8²



ARP PATTERNS アルペジオパターン

ARP と MAD モードでは RAMP ノブの ALT コントロールでパターンを選択できます。各モードではパターンはそれぞれ異なる方法で適用されます。

			Harmonies 1/2/3 3 note chords		Harmonies 4/5/6 4 note chords	
Pattern #	Description		Index pattern	Size	Index pattern	Size
1	UP	Linear	1, 2, 3	3	1, 2, 3, 4	4
2		Stepped Linear	1, 2, 2, 3	4	1, 2, 3, 2, 3, 4	6
3		Step Jumps	1, 3, 2, 3	4	1, 3, 2, 4	4
4		Pedal Point	1, 2, 1, 3	4	1, 2, 1, 3, 1, 4	6
5	DOWN	Linear	3, 2, 1	3	4, 3, 2, 1	4
6		Stepped Linear	3, 2, 2, 1	4	4, 3, 2, 3, 2, 1	6
7		Step Jumps	3, 1, 2, 1	4	4, 2, 3, 1	4
8		Pedal Point	3, 2, 3, 1	4	4, 3, 4, 2, 4, 1	6
9	UP DOWN	Linear	1, 2, 3, 2	4	1, 2, 3, 4, 3, 2	6
10		Stepped Linear	1, 2, 2, 3, 2, 2	6	1, 2, 3, 2, 3, 4, 3, 2, 3, 2	10
11		Step Jumps	1, 3, 2, 3, 2, 3	6	1, 3, 2, 4, 2, 3	6
12		Pedal Point	1, 2, 1, 3, 1, 2	6	1, 2, 1, 3, 1, 4, 1, 3	8

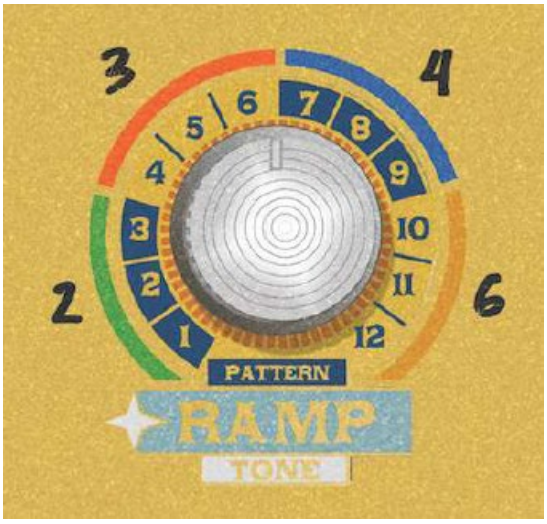
			Harmonies 7/8/9 6 note chords		Harmonies 10/11/12 8 note chords	
Pattern #	Description		Index pattern	Size	Index pattern	Size
1	UP	Linear	1, 2, 3, 4, 5, 6	6	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8	8
2		Stepped Linear	1, 2, 3, 4, 3, 4, 5, 6	8	1, 2, 3, 4, 3, 4, 5, 6, 5, 6, 7, 8	12
3		Step Jumps	1, 3, 2, 4, 3, 5, 4, 6	8	1, 3, 2, 4, 3, 5, 4, 6, 5, 7, 6, 8	12
4		Pedal Point	1, 2, 1, 3, 1, 4, 1, 5, 1, 6	10	1, 2, 1, 3, 1, 4, 1, 5, 1, 6, 1, 7, 1, 8	14
5	DOWN	Linear	6, 5, 4, 3, 2, 1	6	8, 7, 6, 5, 4, 3, 2, 1	8
6		Stepped Linear	6, 5, 4, 3, 4, 3, 2, 1	8	8, 7, 6, 5, 6, 5, 4, 3, 4, 3, 2, 1	12
7		Step Jumps	6, 4, 5, 3, 4, 2, 3, 1	8	8, 6, 7, 5, 6, 4, 5, 3, 4, 2, 3, 1	12
8		Pedal Point	6, 5, 6, 4, 6, 3, 6, 2, 6, 1	10	8, 7, 8, 6, 8, 5, 8, 4, 8, 3, 8, 2, 8, 1	14
9	UP DOWN	Linear	1, 2, 3, 4, 5, 6, 5, 4, 3, 2	10	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 7, 6, 5, 4, 3, 2	14
10		Stepped Linear	1, 3, 4, 2, 4, 5, 6, 4, 3, 5, 3, 2	12	1, 4, 5, 6, 2, 5, 6, 7, 8, 5, 4, 3, 7, 4, 3, 2	16
11		Step Jumps	1, 4, 2, 5, 3, 6, 3, 5, 2, 4	10	1, 5, 2, 6, 3, 7, 4, 8, 4, 7, 3, 6, 2, 5	14
12		Pedal Point	1, 3, 1, 5, 1, 6, 1, 4, 1, 2	10	1, 3, 1, 5, 1, 7, 1, 8, 1, 6, 1, 4, 1, 2	14

MAD MODE PATTERNS MAD モードでのパターン

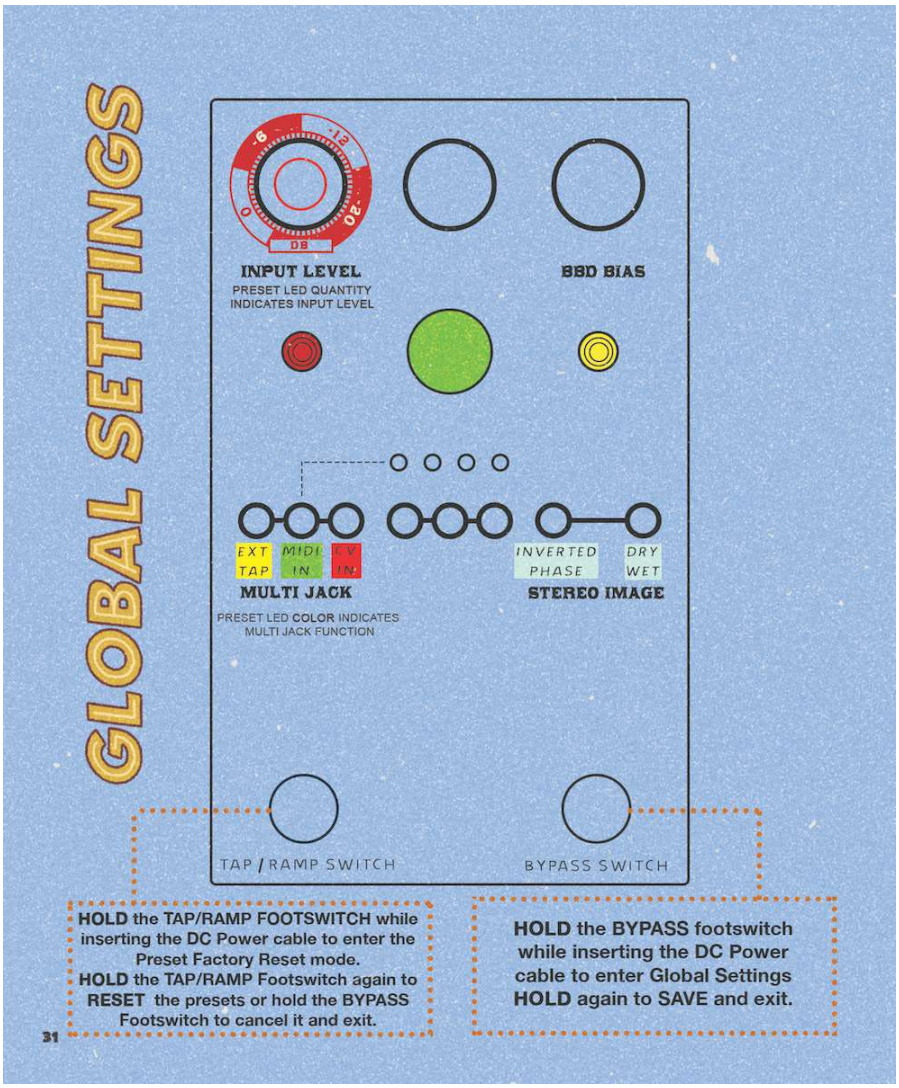
MAD モードでは RAMP ノブの ALT コントロールでランダムパターンを選択できます。

ノブを回すたび、文字通り数千ものパターンが生成されているのです。4 つに分けることができそれぞれ異なるサブディビジョンを持っています。

1 拍子あたり、2，3，4，6 ステップから選択できます。



GLOBAL SETTINGS グローバル設定



INPUT LEVEL: PRESET LED が入力レベルの状態を表示します。

MULTI JACK: PRESET LED のカラーが MULTI JACK の現在の機能を表示します。

TAP / RAMP SWITCH: TAP/RAMP スイッチを押したまま電源をいれると、ファクトリーリセットモードとなります。

TAP/RAMP を再びホールドするとプリセットをリセット、BYPASS をホールドするとリセットをキャンセルします。

BYPASS SWITCH: BYPASS フットスイッチを押したまま電源を入れると、グルーバル設定メニューとなります。BYPASS を再度長押しして設定を保存します。

SEABEE はグローバル設定でインプットレベル、BBD バイアス、ステレオイメージ、マルチファンクションジャックのの 4 つのパラメーターを変更できます。

1. DC ケーブルを抜いてペダルの電源を落とします。

2. BYPASS フットスイッチを長押ししたまま電源ケーブルを指します、

3. これでグローバル設定メニューとなります。

4. 再度 BYPASS スイッチをホールドして、設定を保存しメニューを終了します。

INPUT LEVEL（RAMP ノブ）： 入力シグナルへパッドを適用します。ラインレベルの入力、またはよりホットなアクティブピックアップなどにどうぞ。ラインレベルには-20dB、インストゥルメントは 0dB、他の楽器はその間くらいの設定を推奨します。PAD はウェットにのみ有効、0dB がファクトリープリセットです。プリセット LED がアッテネートの具合を表示します

BBD BIAS（DEPTH ノブ）：BBD をファインチューンします。RAM/PRATE スイッチを長押しすることで、いつでもデフォルトの設定へ戻れます。この設定は、専門的な知識がない場合はおそらく触らないほうが良いでしょう。

STEREO IMAGE（EFFECT TOGGLE）：2 つのステレオオプションから選択します。

左（CHORUS): 両方のアウトプットからウェット信号が出力されます。フェイズは反転されておりモジュレーションが左から右へバウンスするような特殊な効果です。

右（HARMO): メインの出力ジャック（モノ）からウェット信号が出力、2 つの目のアウトプットにはドライ信号のみが出力されます（ファクトリープリセット）。

MULTI JACK （RAMP TOGGLE): TRS（ステレオ）コネクターを使う場合は、MULTI JACK は常に EXP 入力（10K）として使えます。TS（MONO）コネクターを接続する場合は、3 つの異なるファンクションがあります。

FACTORY PRESET RESET

以下の手順でプリセットを工場出荷時へリセットできます。

1. 電源ケーブルを抜きます。

2. RAMP/RATE フットスイッチを押し続けながら、電源ケーブルを接続します。

3. RAMP/RATE フットスイッチを離して再度押し続けると、リセットが行われます。リセットをしない場合は BYPASS を押し続けるか、電源ケーブルを抜いてください。

MIDI

SEABEE は Midibox と TS ケーブル（Tip Active)を使用することで、MIDI で制御が可能です。

プリセットの変更、全てのパラメーターの変更、MIDI クロックへのシンクができます。

まずはグローバル設定メニューにアクセスし、MULTI JACK を MIDI メッセージを受信できるよう設定が必要です。

1. 電源ケーブルを抜きます。

2. BYPASS を押しながら電源ケーブルを接続することで、グローバル設定メニューへ入ります。

3. RAMP トグルで MULTI JACK の機能を選択します。MIDI に対応するためには中央ポジションへ設定します。プリセット LED が緑で点灯します。

4. BYPASS スイッチを長押しして、設定を保存しグルーバル設定メニューを終了します。

MIDI

SEABEE は Midibox と TS ケーブル（Tip Active)を使用することで、MIDI で制御が可能です。

プリセットの変更、全てのパラメーターの変更、MIDI クロックへのシンクができます。

まずはグローバル設定メニューにアクセスし、MULTI JACK で MIDI メッセージを受信できるよう設定が必要です。

1. 電源ケーブルを抜きます。

2. BYPASS を押しながら電源ケーブルを接続することで、グローバル設定メニューへ入ります。

3. RAMP トグルで MULTI JACK の機能を選択します。MIDI に対応するためには中央ポジションへ設定します。プリセット LED が緑で点灯します。

4. BYPASS スイッチを長押しして、設定を保存しグルーバル設定メニューを終了します。

MIDI CHANNEL SETUP MIDI チャンネルの設定

グローバル設定モードでは SEABEE の MIDI チャンネルを設定できます。

グローバル設定モード中に使用したいチャンネルでの MIDI メッセージを送ることで、そのチャンネルへ設定されます。

工場出荷時はチャンネル 11 に設定されています。

EXPRESSION エクスプレッション

各モード異なるパラメーターを EXP で制御可能です。EXP ペダルは TRS ケーブルで MULTI JACK へ接続するだけで OK です

ROTO: RATE 1 (HEEL) / RATE 2 (TOE)

DEPTH: DEPTH なし（HEEL) / 現在の DEPTH 設定（TOE)

STING: DELAY TIME 1 (HEEL) / DELAY TIME 2 (TOE)

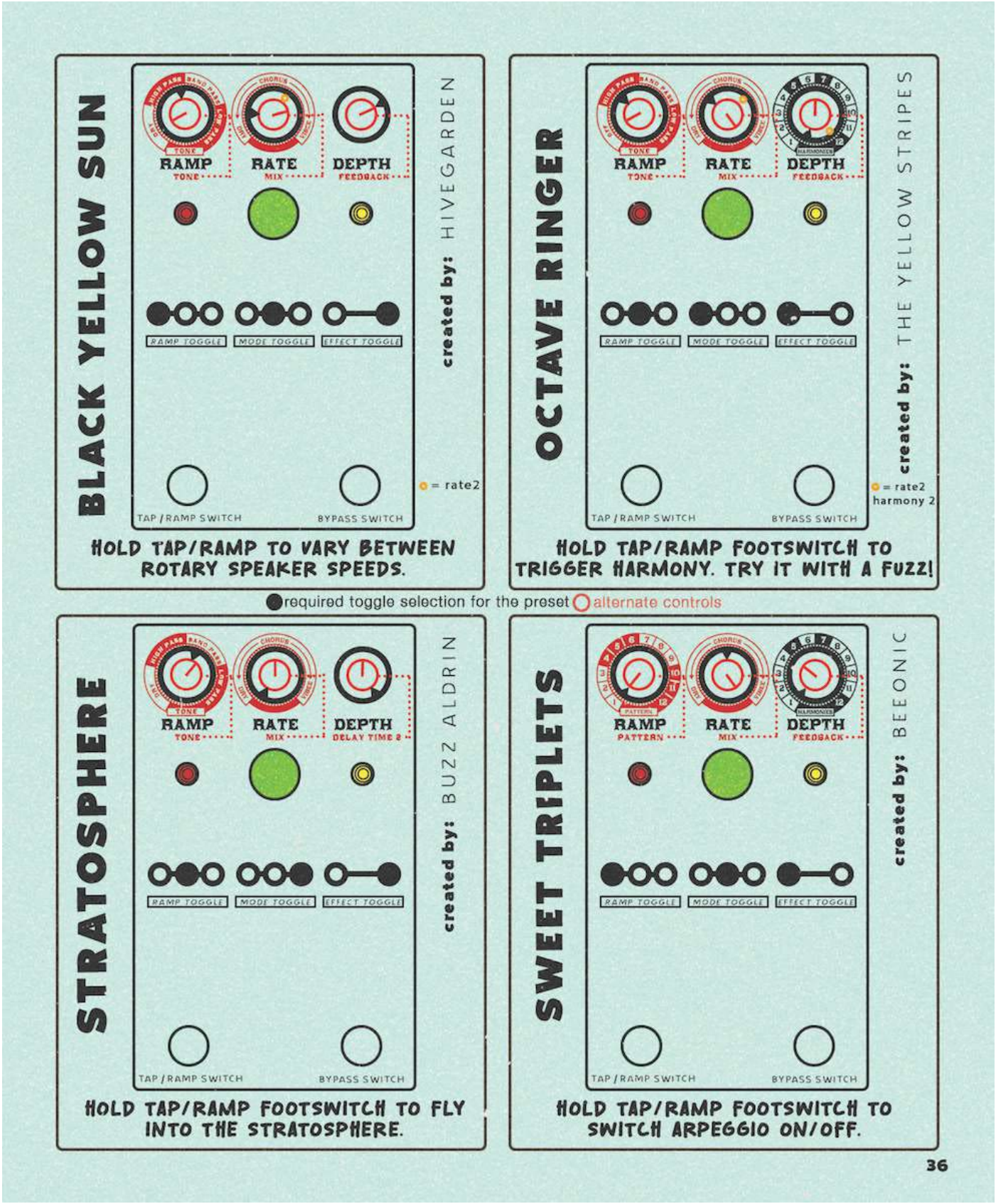
DUAL: HARMONY1 (HEEL)　/ HARMONY2 (TOE)

ARP: FEEDBACK なし(HEEL) / 現在の FEEDBACK 設定（TOE）

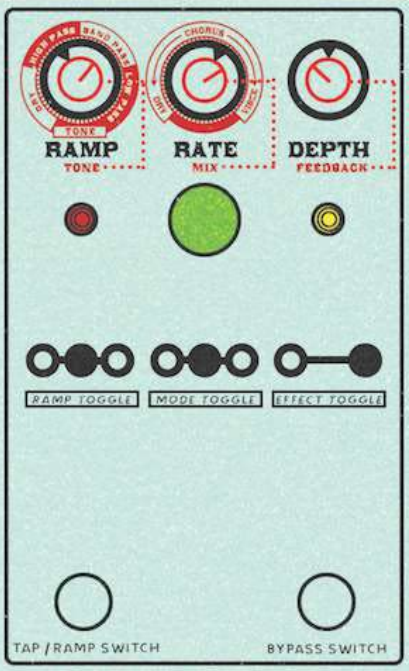
MAD: FEEDBACK なし(HEEL) / 現在の FEEDBACK 設定（TOE）

SAMPLE SETTINGS

これらのセッティングはファクトリープリセットに収録されている設定と同じです。



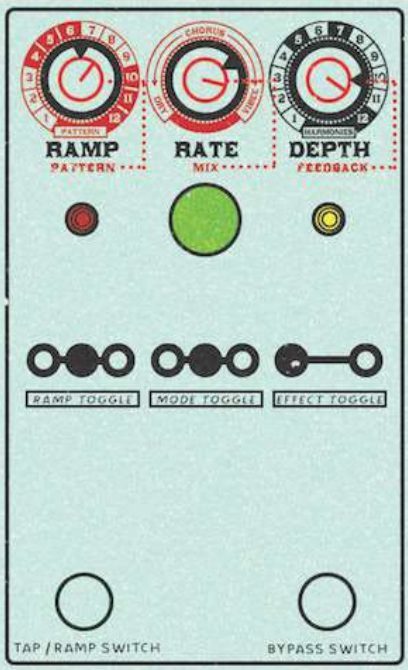
WAVE CONTROL



created by: ERNEST HIVEWAY

HOLD TAP/RAMP FOOTSWITCH TO BRING IN THE WAVES.

I WANT TO BEELIEVE

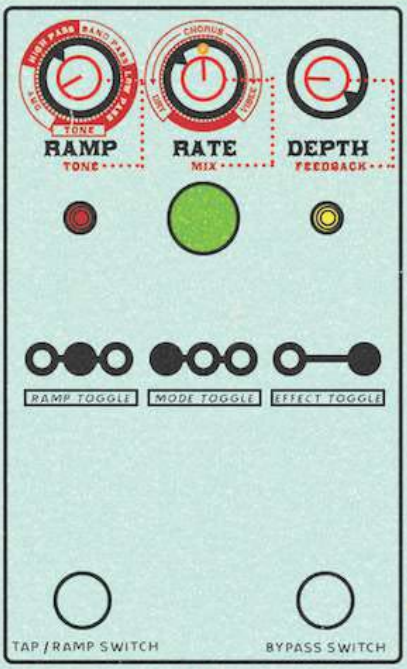


created by: BE.ET

HOLD TAP/RAMP FOOTSWITCH TO HAVE BEEALIEN COMMUNICATION.

● required toggle selection for the preset ○ alternate controls

POLEN UNDER

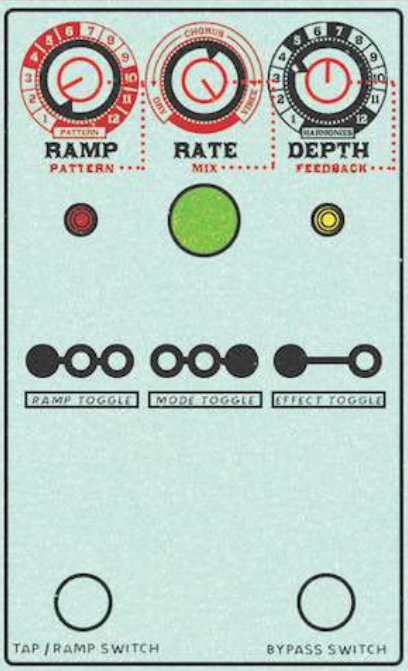


created by: JOHN BEETUCCI

○ = rate2

HOLD TAP/RAMP INCREASE MODULATION RATE.

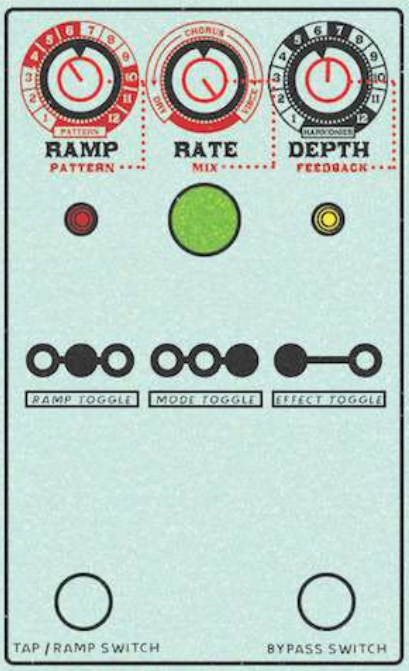
ROBOTIC VIBEE



created by: ROBOBEE

HOLD TAP/RAMP FOOTSWITCH TO TURN PATTERN ON/OFF.

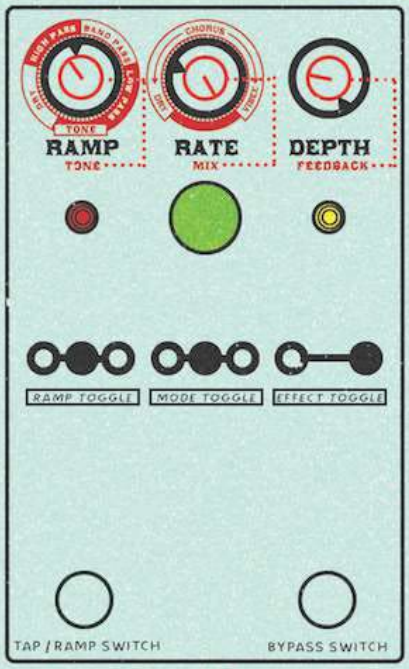
LOST IN A HIVE



created by: BEEL PUTNAM

HOLD TAP/RAMP FOOTSWITCH SLOWLY BRING PATTERN IN AND OUT.

HONEY STICKY TAPE

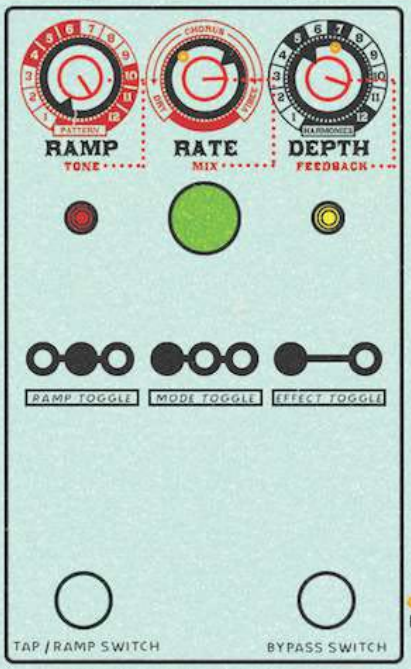


created by: STUDIO HOARDER

HOLD TAP/RAMP TO SLIGHTLY DETUNE NOTES.

● required toggle selection for the preset ○ alternate controls

HARMOFUN

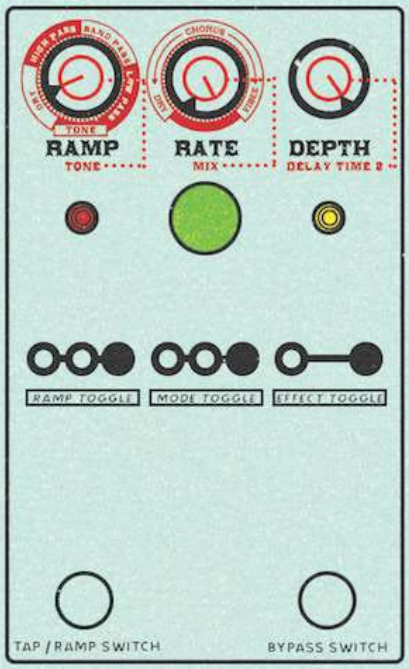


created by: ANT BEE

● = rate2
harmony 2

HOLD TO ALTERNATE BETWEEN 4TH'S AND 5TH'S.

DON'T BEE FUNNY



created by: BEEZAR

HOLD TAP/RAMP FOOTSWITCH WHEN FEEDBACK IS RINGING TO PICTH IT UP!

BZZ!